

■コメント

1. インフルエンザ

定点当たり5.81人と、4週連続して減少し、注意報レベル(定点当たり10.0人)を下回りました。

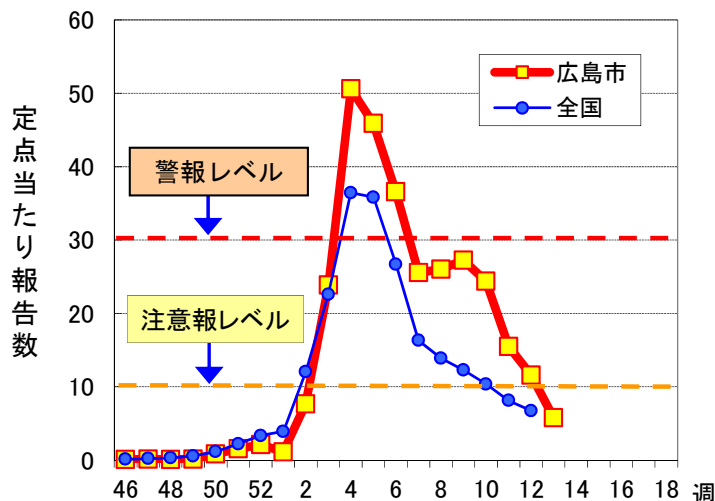
学校が春休みに入った影響もあり減少が続いていると思われますが、ここ数年、春休み後に再び増加し、小規模な流行が5月頃まで続く傾向にありますので、手洗い・うがいの励行を心がけるなど、感染予防に注意しましょう。

2. 風しん

1件の報告があり、今年の累計は昨年1年間の累計と並び、4件となりました。

昨年から今年にかけて特に首都圏を中心に報告数が急増しており(次頁参照)、感染の拡大が懸念されますので、一層の感染予防対策を心がけましょう。

インフルエンザ



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)	発生記号
インフルエンザ	215	5.81	4.26	▲	ヘルパンギーナ	-	-	0.02	
咽頭結膜熱	6	0.25	0.25		流行性耳下腺炎	4	0.17	0.53	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	18	0.75	1.42	▲	RSウイルス感染症	5	0.21	0.07	
感染性胃腸炎	190	7.92	8.92	▶	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
水痘	29	1.21	1.24	▶	流行性角結膜炎	3	0.38	1.00	
手足口病	5	0.21	0.51	▼	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	-	-	0.23		無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
突発性発しん	6	0.25	0.47		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.29	
百日咳	-	-	0.17		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減 ▲ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ▲ 前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減

微増減 ▲ 前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減

横ばい ▶ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	42	男性(10歳代)・1人、男性(70歳代)・1人、女性(70歳代)・1人 男性(80歳代)・1人
4	A型肝炎	1	1	女性(70歳代)
5	風しん	1	4	男性(30歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	第9週 第10週 第11週 第12週 第13週	インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウィ ルス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎
			1,009 902 573 429 215	5 5 5 12 6	28 37 23 35 18	199 222 186 173 190	26 34 27 25 29	7 9 9 15 5	- 4 - - -	8 6 10 15 6	2 3 1 - -	- - - - -	4 1 - 4 4	7 4 8 7 5	- - - 1 -	2 2 4 1 3	- - - - -	- - - - -	- - - - -	- -
定点 当たり	広島市	第9週	27.27	0.21	1.17	8.29	1.08	0.29	-	0.33	0.08	-	0.17	0.29	-	0.25	-	-	-	-
		第10週	24.38	0.21	1.54	9.25	1.42	0.38	0.17	0.25	0.13	-	0.04	0.17	-	0.25	-	-	-	-
		第11週	15.49	0.21	0.96	7.75	1.13	0.38	-	0.42	0.04	-	-	0.33	-	0.50	-	-	-	-
		第12週	11.59	0.50	1.46	7.21	1.04	0.63	-	0.63	-	-	0.17	0.29	0.13	0.13	-	-	-	-
		第13週	5.81	0.25	0.75	7.92	1.21	0.21	-	0.25	-	-	0.17	0.21	-	0.38	-	-	-	-
	全国	第11週	8.13	0.32	2.28	10.18	1.08	0.20	0.05	0.50	0.01	0.02	0.24	0.33	0.03	0.43	0.02	0.02	0.53	0.02
		第12週	6.75	0.30	1.95	8.81	1.16	0.17	0.06	0.49	0.01	0.02	0.25	0.26	0.04	0.45	0.01	0.02	0.58	0.04

■新たに判明した病原体検出状況

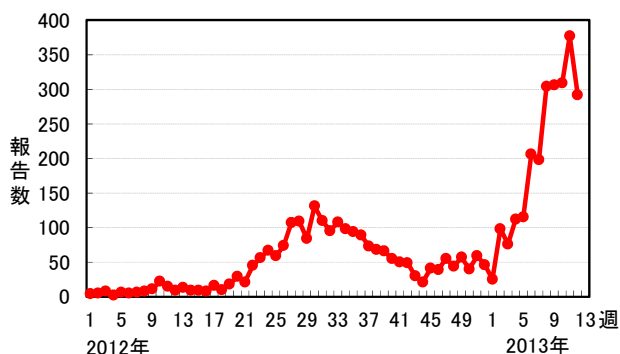
(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(40.3) 紅斑 肝機能障害	13	女	2013/01/21	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス7型
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	9	男	2013/03/20	咽頭拭い液	B型インフルエンザウイルス
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	76	男	2013/03/25	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H3)型
その他の呼吸器疾患	気管支炎 肺炎	4	男	2013/02/17	鼻汁(拭い液)	ヒトメタニューモウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 気管支炎 嘔吐	0	女	2013/02/16	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス2型
その他の消化器疾患	嘔吐(胃腸炎) 腹痛 腸重積	0	女	2013/02/12	糞便	アデノウイルス31型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

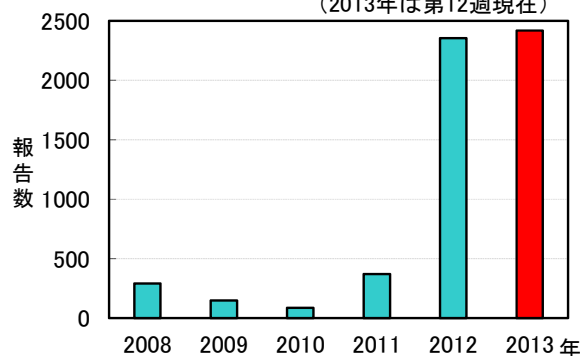
★風しんに注意しましょう

全国の風しん週別報告数 2012年 第1週～2013年 第12週



全国の風しん年間報告数の推移

(2013年は第12週現在)



全国の風しん報告数は、昨年は2353件と、過去5年間で最も多い報告数となりましたが、今年も成人男性を中心に特に首都圏での報告数の増加が顕著となっており、第12週現在で2418件と、昨年の年間報告数をすでに超えています。

今後妊娠を希望する女性や、その夫、子どもその他の同居家族の方で成人を含め、風しんの抗体価が十分であると確認できない方は、積極的に予防接種を受けましょう。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2013年第13週(3月25日～3月31日)